

無線綴じデータの制作について

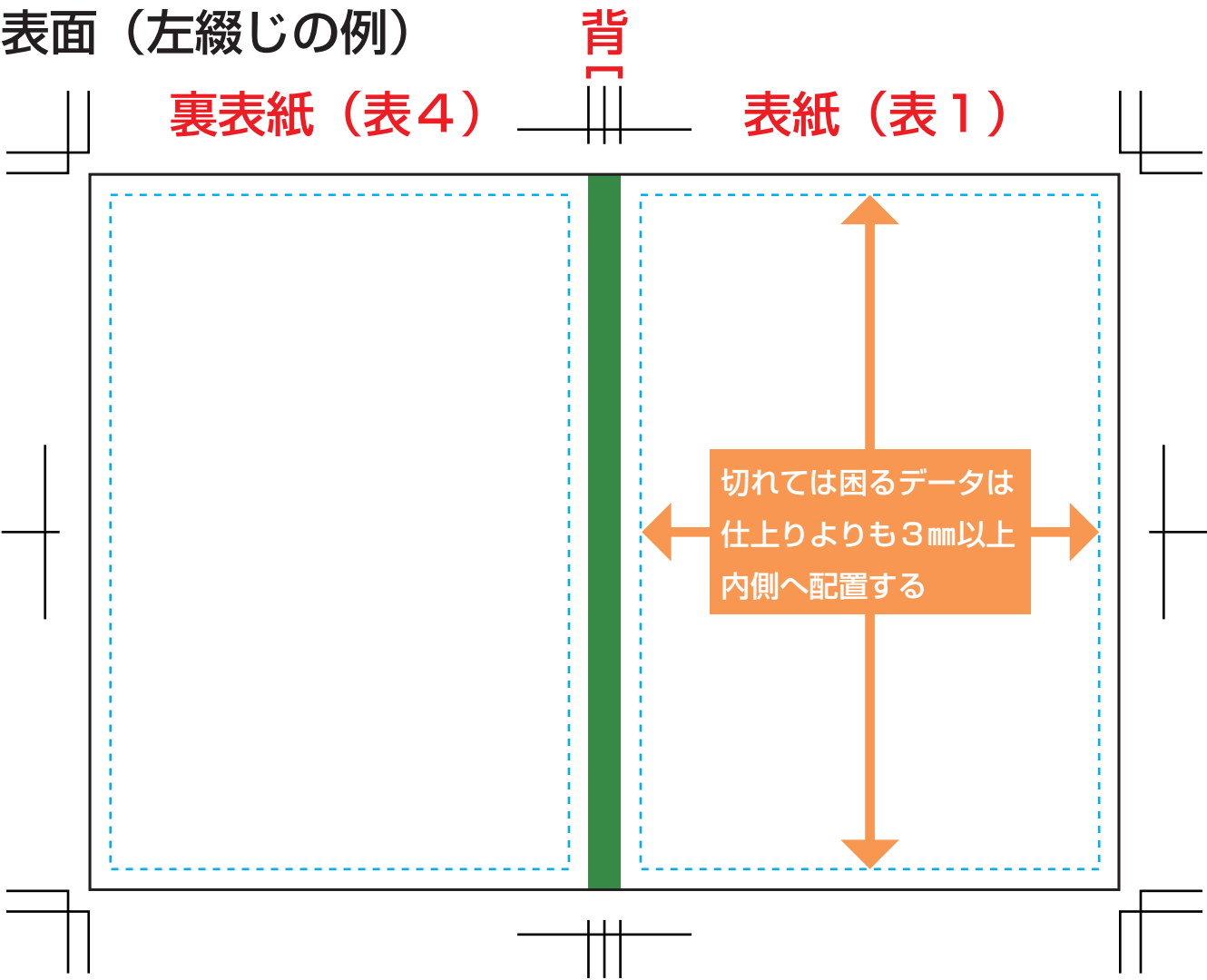
無線綴じ冊子の背幅は、ページ数、用紙、斤量によって変わります。  
下表より下記数式を使って算出します。

(総ページ数 × 紙厚) ÷ 2

用紙	斤量 (kg)	紙厚 (mm)	用紙	斤量 (kg)	紙厚 (mm)	用紙	斤量 (kg)	紙厚 (mm)
コート紙	90	0.086	マットコート紙	70	0.078	上質紙	70	0.097
	110	0.106		90	0.108		90	0.126
	135	0.136		110	0.139		110	0.149
				135	0.181		135	0.182

表紙部分は、本文とは別に、背を含めた見開きの状態で表面と裏面の二つのデータを制作します。  
表面には、「表紙（表1）」と「裏表紙（表4）」、「背」をつなげたサイズの見開きデータを制作し、  
本文と背の境目にトンボを付けます。  
切れては困る文字や絵柄は仕上りよりも3mm以上内側へ配置してください。  
算出された背幅はあくまで目安のため、製本時、若干のズレが生じる場合があります。そのため、  
「表紙」、「背」、「裏表紙」がはっきり分かれるようなデザインはご注意ください。

●表面（左綴じの例）

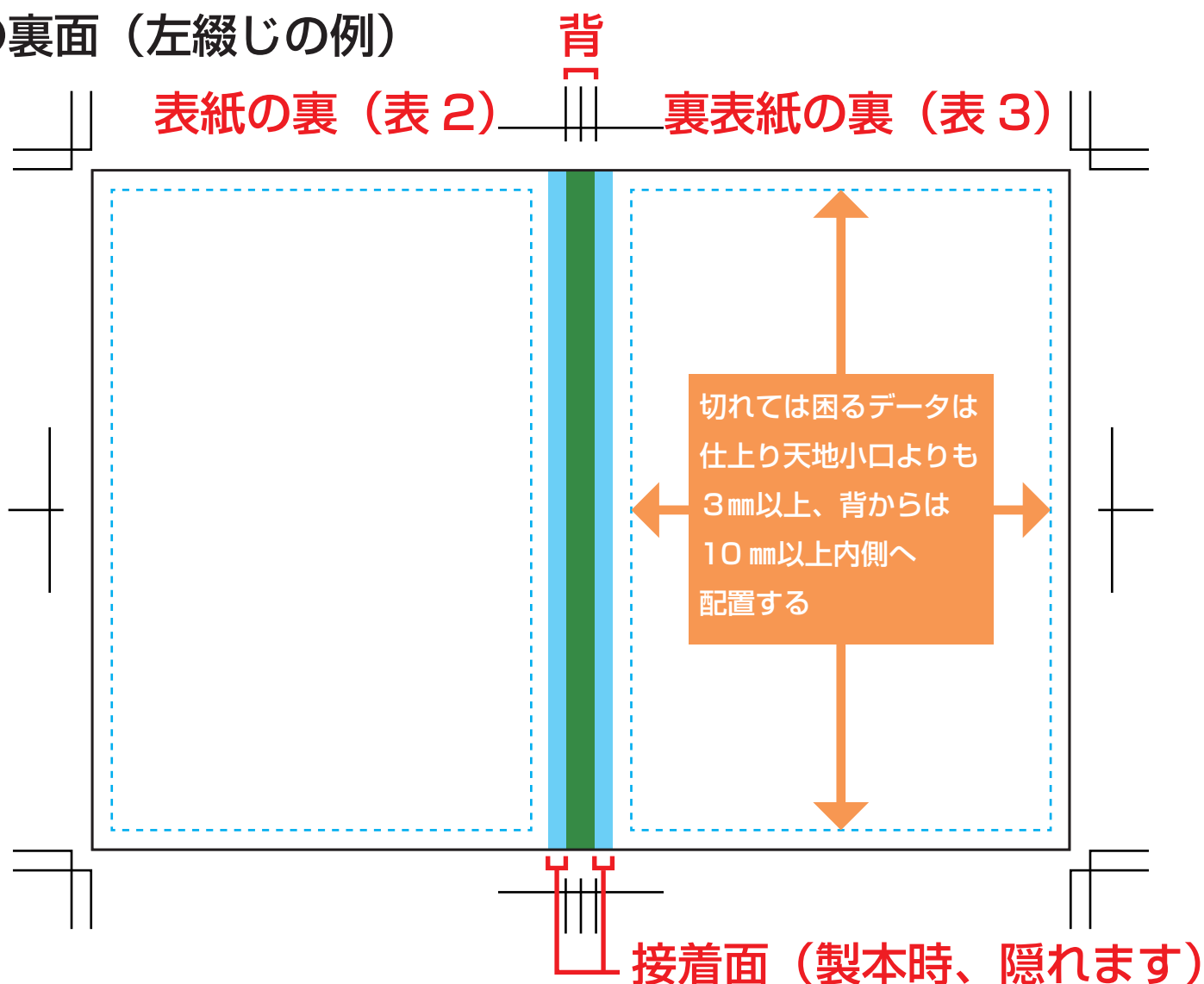


裏面も同様に「表紙の裏（表2）」と「裏表紙の裏（表3）」、「背」をつなげたサイズの見開きデータを制作し、「本文」と「背」の境目にトンボを付けます。

裏面は、本文と直接貼り合わせるため、「背」の両側に5mmの接着面が必要です。この部分に文字や絵柄がある場合、完全に隠れてしまいますのでご注意ください。

隠れたり、切れては困る文字や絵柄は、背から10mm以上内側へ配置してください。

## ●裏面（左綴じの例）



裏面と直接貼り合わせる本文の最初のページと最後のページも、綴じ部分（ノド）から5mmは完全に隠れます。隠れたり、切れては困る文字や絵柄は、綴じ部分よりも10mm以上内側へ配置してください。

## ●本文（左綴じの例）

